



福島医発第2722号(地)

平成27年 1月 9日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

(公 印 省 略)

平成27年度精神保健に関する技術研修の受講者募集について

今般、平成27年度精神保健に関する技術研修の受講者募集について、別添のとおり国立精神・神経医療研究センターより福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室を通じて案内がありました。

つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

なお、各研修課程の詳細につきましては下記の同センターホームページに掲載されますのでご確認いただきますようお願いいたします。(平成27年1月掲載予定)

記

国立精神・神経医療研究センターホームページ

(<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>)

小郡三井医師会より

精神保健担当理事 古川哲也
会長 廣瀬真恵

公印省略

26健第4662号

平成26年12月26日

公益社団法人福岡県医師会会長 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課
こころの健康づくり推進室長
(精神保健班)

平成27年度精神保健に関する技術研修の受講者募集について (送付)

精神保健行政の推進につきましては、日ごろから御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、国立精神・神経医療研究センターより別添のとおり、平成27年度精神保健に関する技術研修の受講者募集について案内がありましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員の皆様への周知をよろしくお願いいたします。

詳しい情報については、ホームページ (<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>) を御確認いただきますようお願いいたします。(平成27年1月掲載予定)

<送付先>

〒812-8577

福岡市博多区東公園7番7号

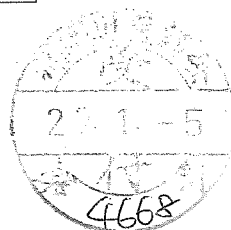
福岡県保健医療介護部健康増進課

こころの健康づくり推進室

精神保健班 長田

TEL) 092-643-3265

FAX) 092-643-3271



各都道府県・政令指定都市 精神保健関係部局一覧(願書提出先)

都道府県名	主管部(局)主管課	郵便番号	所在地	電話番号
北海道	保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課	060-8588	札幌市中央区北三条西6丁目	011-231-4111
札幌市	保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課	060-8611	札幌市中央区北一条西2丁目	011-211-2111
青森県	健康福祉部障害福祉課	030-8570	青森市長島1-1-1	017-722-1111
岩手県	保健福祉部障がい保健福祉課	020-8570	盛岡市内丸10-1	019-651-3111
宮城県	保健福祉部障害福祉課	980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022-211-2111
仙台市	健康福祉局健康福祉部障害者支援課	980-8671	仙台市青葉区国分町3-7-1	022-261-1111
秋田県	福祉保健部障害福祉課	010-8570	秋田市山王4-1-1	018-860-1111
山形県	健康福祉部障がい福祉課	990-8570	山形市松波2-8-1	023-630-2211
福島県	保健福祉部障がい福祉課	960-8670	福島市杉妻町2-16	024-521-1111
茨城県	保健福祉部障害福祉課	310-8555	水戸市笠原町978-6	029-301-1111
栃木県	保健福祉部障害福祉課	320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028-623-2323
群馬県	健康福祉部障害政策課	371-8570	前橋市大手町1-1-1	027-223-1111
埼玉県	保健医療部疾病対策課	330-9301	さいたま市浦和区高砂3-15-1	048-824-2111
さいたま市	保健福祉局保健部健康増進課	330-9588	さいたま市浦和区常盤6-4-4	048-829-1111
千葉県	健康福祉部障害福祉課	260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043-223-2334
千葉市	保健福祉局高齢障害部精神保健福祉課	261-8755	千葉市美浜区幸町1-3-9市総合保健医療センター2階	043-238-9980
東京都	福祉保健局障害者施策推進部精神保健・医療課	163-8001	東京都新宿区西新宿2-8-1	03-5321-1111
神奈川県	保健福祉局保健医療部保健予防課	231-8588	横浜市中区日本大通1	045-210-1111
横浜市	横浜市こころの健康相談センター	231-0021	横浜市中区日本大通18 KRCビル6F	045-671-4455
川崎市	健康福祉局障害保健福祉部精神保健課	210-8577	川崎市川崎区宮本町1	044-200-3608
相模原市	健康福祉局福祉部 精神保健福祉課	252-5277	相模原市中央区中央2-11-15	042-754-1111
新潟県	新潟県精神保健福祉センター	950-0994	新潟市中央区上所2-2-3	025-280-0111
新潟市	保健衛生部 こころの健康センター	951-8133	新潟市中央区川岸町1-57-1	025-232-5551
富山県	厚生部健康課	930-8501	富山市新総曲輪1-7	076-431-4111
石川県	健康福祉部障害保健福祉課	920-8580	金沢市鞍月1-1	076-225-1427
福井県	健康福祉部障害福祉課	910-8580	福井市大手3-17-1	0776-20-0634
山梨県	福祉保健部障害福祉課	400-8501	甲府市丸の内1-6-1	055-237-1111
長野県	健康福祉部保健・疾病対策課	380-8570	長野市南長野幅下692-2	026-232-0111
岐阜県	健康福祉部保健医療課	500-8570	岐阜市藪田南2-1-1	058-272-1111
静岡県	健康福祉部障害者支援局障害福祉課	420-8601	静岡市葵区追手町9-6	054-221-2435
静岡市	保健福祉局保健衛生部 保健所精神保健福祉課	420-0846	静岡市葵区城東町24-1	054-249-3179
浜松市	健康福祉部障害保健福祉課	430-8652	浜松市中区元城町103-2	053-457-2213
愛知県	健康福祉部障害福祉課	460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052-961-2111
名古屋市	健康福祉局障害福祉部障害企画課	460-8508	名古屋市中区三の丸3-1-1	052-961-1111
三重県	健康福祉部障がい福祉課	514-8570	津市広明町13	059-224-2248
滋賀県	健康福祉部障害福祉課	520-8577	大津市京町4-1-1	077-524-1121

都道府県名	主管部(局)主管課	郵便番号	所在地	電話番号
京都府	京都府精神保健福祉総合センター	612-8416	京都市伏見区竹田流池町120	075-641-1810
京都市	京都市こころの健康増進センター	604-8845	京都市中京区壬生東高田町1-15	075-314-0355
大阪府	健康医療部保健医療室地域保健感染症課	540-8570	大阪市中央区大手前2丁目1-22	06-6941-0351
大阪市	大阪市こころの健康センター	534-0027	大阪市都島区中野町5-15-21都島センタービル3F	06-6922-8520
堺市	健康福祉局健康部精神保健課	590-0078	堺市堺区南瓦町3-1	072-233-1101
兵庫県	健康福祉部障害福祉局障害福祉課	650-8567	神戸市中央区下山手通5-10-1	078-341-7711
神戸市	保健福祉局 障害福祉課	650-8570	神戸市中央区加納町6-5-1	078-331-8181
奈良県	医療政策部保健予防課	630-8501	奈良市登大路町30	0742-22-1101
和歌山県	福祉保健部福祉保健政策局障害福祉課	640-8585	和歌山市小松原通1-1	073-432-4111
鳥取県	福祉保健部障がい福祉課	680-8570	鳥取市東町1-220	0857-26-7862
島根県	健康福祉部障がい福祉課	690-8501	松江市殿町1	0852-22-6686
岡山県	保健福祉部健康推進課	700-8570	岡山市北区内山下2-4-6	086-226-7330
岡山市	岡山市保健福祉局保健管理課	700-8546	岡山市北区鹿田町1-1-1	086-803-1000
広島県	健康福祉局健康対策課	730-8511	広島市中区基町10-52	082-228-2111
広島市	広島市健康福祉局障害福祉部 精神保健福祉課	730-8586	広島市中区国泰寺町1-6-34	082-245-2111
山口県	健康福祉部健康増進課	753-8501	山口市滝町1-1	083-922-3111
徳島県	保健福祉部健康増進課	770-8570	徳島市万代町1-1	088-621-2225
香川県	健康福祉部障害福祉課	760-8570	高松市番町4-1-10	087-832-3294
愛媛県	保健福祉部健康増進課	790-8570	松山市一番町4-4-2	089-941-2111
高知県	地域福祉部障害保健福祉課	780-8570	高知市丸ノ内1-2-20	088-823-1111
福岡県	保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室	812-8577	福岡市博多区東公園7-7	092-643-3265
福岡市	保健福祉局保健予防課	810-8620	福岡市中央区天神1-8-1	092-711-4377
北九州市	保健福祉局障害福祉課	803-8501	北九州市小倉北区城内1-1	093-582-2424
佐賀県	健康福祉本部障害福祉課	840-8570	佐賀市城内1-1-59	0952-25-7064
長崎県	福祉保健部障害福祉課	850-8570	長崎市江戸町2-13	095-895-2456
熊本県	健康福祉部子ども・障がい福祉局障がい者支援課	862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096-333-2234
熊本市	障がい保健福祉課	860-8601	熊本市中央区手取本町1-1	096-328-2293
大分県	福祉保健部障害福祉課	870-8501	大分市大手町3-1-1	097-536-1111
宮崎県	福祉保健部障害福祉課	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1	0985-24-1111
鹿児島県	保健福祉部障害福祉課	890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099-286-2111
沖縄県	保健医療部健康長寿課	900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098-866-2209

平成 27 年度 精神保健に関する技術研修課程

【募集要項】

独立行政法人
国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所

〒187-8553 東京都小平市小川東町 4-1-1
電話 042 (341) 2711 (代表)

精神保健研究所ホームページ 研修情報案内
(<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>)

< 目 次 >

1) 平成27年度精神保健に関する技術研修課程	
実施計画表	1
平成27年度における主な変更点	2
2) 募集要項	3
3) WEB作成書類サンプル	
受講願書	6
履歴書	7
推薦書	8
受講料請求書	9
4) 各研修課程要綱	
第10回 発達障害早期総合支援研修	11
第52回 精神保健指導課程研修	12
第19回 発達障害支援医学研修	13
第9回 自殺総合対策企画研修	14
第13回 摂食障害治療研修	15
第7回 アウトリーチによる地域ケアマネジメント（福祉型）研修	16
第13回 医療における包括型アウトリーチ研修	17
第3回 医療における個別就労支援研修	18
第3回 司法精神医学ワンデイセミナー	19
第29回 薬物依存臨床医師研修・第17回 薬物依存臨床看護等研修	20
第8回 発達障害精神医療研修	21
第6回 心理職自殺予防研修	22
第1回 メンタルヘルス問題への初期対応指導者研修	23
第10回 司法精神医学研修	24
第12回 摂食障害看護研修	25
第7回 薬物依存症に対する認知行動療法研修	26
第11回 精神科医療従事者自殺予防研修	27
第9回 精神科急性期医療の質を考える研修	28
第12回 精神科医療従事者自殺予防研修	29
第10回 犯罪被害者メンタルケア研修	30
第20回 発達障害支援医学研修	31

平成27年度精神保健に関する技術研修課程 実施計画表

研修日程	課程名	応募 方法	願書締切日	受講料	会 場	定 員	主 任 副 主 任	自殺予 防総合 対策セ ンターの担 当する 研修
			願書作成(WEB登録)期間					
6月17日(水)～19日(金)	(第10回) 発達障害早期総合 支援研修	WEB 登録後 郵送	4月16日(木) 3/23(月)～4/13(月)	無料	小平市	50	神尾 陽子 高橋 秀俊	
6月25日(木)～26日(金)	(第52回) 精神保健指導 課程研修	WEB のみ	5月14日(木) 4/9(木)～5/14(木)	¥20,000	小平市	40	竹島 正 立森 久照 西 大輔	
7月1日(水)～2日(木)	(第19回) 発達障害支援 医学研修	WEB 登録後 郵送	4月30日(木) 4/6(月)～4/27(月)	無料	小平市	60	稲垣 真澄 太田 英伸 北 洋輔	
8月24日(月)～26日(水)	(第9回) 自殺総合対策 企画研修	WEB のみ	7月2日(木) 6/11(木)～7/2(木)	¥12,000	小平市	80	松本 俊彦 川野 健治 藤森麻衣子 山内 貴史	○
8月25日(火)～28日(金)	(第13回) 摂食障害治療研修	WEB 登録後 郵送	6月25日(木) 6/1(月)～6/22(月)	¥24,000	小平市	40	安藤 哲也 菊地 裕絵	
《地域精神科 モデル医療研修シリーズ》 9月1日(火)～4日(金)	(第7回) アウトリーチによる 地域ケアマネジメント(福祉型)研修	WEB 登録後 郵送	7月2日(木)	¥25,000	小平市	各 20	伊藤順一郎 佐藤さやか 山口 創生	
	(第13回) 医療における包括型アウトリーチ研修		6/8(月)～6/29(月)					
	(第3回) 医療における個別就労支援研修							
9月5日(土)	(第3回) 司法精神医学ワンデイセミナー	WEB 登録後 郵送	7月7日(火) 6/12(金)～7/3(金)	¥6,000	小平市	25	岡田 幸之 菊池安希子 安藤久美子	
9月8日(火)～11日(金)	(第29回) 薬物依存臨床 医師研修	WEB 登録後 郵送	7月9日(木) 6/15(月)～7/6(月)	¥24,000	小平市	20	和田 清 松本 俊彦 船田 正彦	
9月8日(火)～11日(金)	(第17回) 薬物依存臨床 看護等研修	WEB 登録後 郵送	7月9日(木) 6/15(月)～7/6(月)	¥24,000	小平市	30	和田 清 松本 俊彦 船田 正彦	
9月16日(水)～18日(金)	(第8回) 発達障害 精神医療研修	WEB のみ	7月30日(木) 7/9(木)～7/30(木)	無料	小平市	50	神尾 陽子 高橋 秀俊	
9月29日(火)～30日(水)	(第6回) 心理職自殺予防研修	WEB のみ	8月6日(木) 7/16(木)～8/6(木)	無料	小平市	80	川野 健治 松本 俊彦 藤森麻衣子 山内 貴史	○
10月1日(木)～2日(金)	(第1回) メンタルヘルス問題への初期対応指導者 研修	WEB のみ	8月17日(月) 7/27(月)～8/17(月)	¥18,000	小平市	40	金 吉晴 鈴木友理子	
10月27日(火)～28日(水)	(第10回) 司法精神医学研修	WEB 登録後 郵送	8月27日(木) 8/3(月)～8/24(月)	¥12,000	小平市	50	岡田 幸之 菊池安希子 安藤久美子	
11月4日(水)～6日(金)	(第12回) 摂食障害看護研修	WEB 登録後 郵送	9月3日(木) 8/10(月)～8/31(月)	¥18,000	小平市	40	安藤 哲也 菊地 裕絵	
11月9日(月)～11日(水)	(第7回) 薬物依存症に対する 認知行動療法研修	WEB 登録後 郵送	9月10日(木) 8/17(月)～9/7(月)	無料	小平市	60	松本 俊彦 和田 清	
11月17日(火)～18日(水)	(第11回) 精神科医療従事者自殺予防研修	WEB のみ	9月24日(木) 9/3(木)～9/24(木)	無料	小平市	80	藤森麻衣子 松本 俊彦 川野 健治 山内 貴史	○
11月24日(火)	(第9回) 精神科急性期医療の質を考える研修	WEB のみ	10月8日(木) 9/17(木)～10/8(木)	¥8,000	小平市	60	山之内芳雄	
11月24日(火)～25日(水)	(第12回) 精神科医療従事者自殺予防研修	WEB のみ	10月1日(木) 9/10(木)～10/1(木)	無料	札幌市	80	松本 俊彦 川野 健治 藤森麻衣子 山内 貴史	○
平成28年 1月18日(月)～20日(水)	(第10回) 犯罪被害者 メンタルケア研修	WEB のみ	11月26日(木) 11/5(木)～11/26(木)	¥15,000	小平市	40	金 吉晴 中島 聡美	
1月27日(水)～28日(木)	(第20回) 発達障害支援 医学研修	WEB 登録後 郵送	11月26日(木) 11/2(月)～11/23(月)	無料	小平市	60	稲垣 真澄 太田 英伸 北 洋輔	

※最新情報は、ホームページにてご確認ください。

【平成 27 年度における変更点】

◆新規の課程を開講します

「第 1 回メンタルヘルス問題への初期対応指導者研修」H27. 10. 1～10. 2

地域精神保健の場で遭遇する、ありふれた精神疾患に関する基礎知識と初期対応法を伝える、メンタルヘルス・ファーストエイド(MHFA)の実施者研修を提供します。

◆研修課程名称を変更しました

変更前： 「精神科医療評価・均てん化研修」

変更後： 「精神科急性期医療の質を考える研修」H27. 11. 24

変更前： 「ACT・多職種アウトリーチ研修」

変更後： 「医療における包括型アウトリーチ研修」H27. 9. 1～H27. 9. 4

平成27年度精神保健に関する技術研修課程

募 集 要 項

1. 開講目的

本研修は、精神保健福祉の業務に従事する医療従事者、及び研究者等を対象に、精神疾患、神経・筋疾患、発達障害に関する研究と医療にかかる専門的な知識の習得、並びに技術の向上を図ることを目的とする。

2. 主催

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

3. 募集する研修一覧

「平成27年度精神保健に関する技術研修課程実施計画表」参照。各課程の詳細については、精神保健研究所ホームページ「研修情報」から確認してください。

4. 受講申込

「実施計画表」にて申し込みたい研修の応募方法を確認後、下記の（１）、（２）のうち該当する手順に従って指定の期日までに受講申込みを行ってください。

(1) WEB登録後、郵送受付の研修（自治体経由）

【郵送提出書類】

・受講願書 ・履歴書 ・推薦書

【書類作成方法】

- ① 書類作成はWEBシステムにて行います。精神保健研究所ホームページ「研修情報」メニュー（<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>）から、申し込みたい研修を選択し、各研修課程ページの「申込」をクリックしてください。
- ② WEBに申込者情報を入力し、内容確認後、登録をしてください。
- ③ 最終画面右上の「印刷する」をクリックし、「受講願書」「履歴書」「推薦書」を印刷してください。書類にはWEB登録した内容が記載されています。
- ④ 「受講願書」「履歴書」の記載内容を確認し、ご捺印ください。「推薦書」の空欄部分には推薦人によるご記入、ご捺印を受けてください。
- ⑤ 所属機関を管轄している自治体（都道府県・政令指定都市願書提出先一覧を参照）へ願書締切日までにご郵送ください。期日までに書類が到着しない場合は、選考の対象となりませんので、ご注意ください。
- ⑥ 登録したメールアドレスに、こちらからのメールが届いたことを確認してください。

(2) WEB受付のみの研修

【WEB登録書類】

- ・受講願書
- ・履歴書

【書類登録方法】

- ① 受講申込は、WEBシステムにて行います。精神保健研究所ホームページ「研修情報」メニュー (<http://www.ncnp.go.jp/nimh/kenshu/index.html>) から、申し込みたい研修を選択し、「申込」をクリックしてください。
- ② WEBに申込者情報を入力し、内容確認後、登録をしてください。
- ③ 登録したメールアドレスに、受付完了メールが届いたことを確認してください。
「受講願書」「履歴書」が印刷できますが、郵送の必要はありません。
自治体を經由せず、WEBのみで受付を行ないます。

(3) 注意事項

- ・WEB登録後にこちらからのメールが届かない場合は、お問い合わせください。
- ・登録完了後の修正はできません。修正が必要な箇所はメールにてご連絡ください。
- ・WEBに登録された「氏名」、「生年月日」が修了証書への記載事項となります。登録に誤りがある場合は、事前にお申し出ください。

5. 受講者の決定

書類選考の上、研修開始のおよそ1ヶ月前までに、ご登録のメールアドレス宛に受講の可否をメールで通知します。なお、電話による受講の可否のお問い合わせについてはお答えできません。

6. 研修費用の支払

(1) 受講料

各研修により、受講料が異なります。受講料の記載のある課程に関しては、受講決定通知とあわせて請求書（サンプル参照）をお送りしますので、請求書に記載の納付期限（研修開始1週間前）までに指定口座にお振り込みください。現金払いはできません。振込手数料はご負担をお願いします。なお、領収書の発行は振込明細に替えさせていただきます。

※公費払い等で、公印押印や請求書の宛名変更が必要な方は、WEB入力時に画面の備考欄（通信欄）へのご記入によりご連絡ください。

※振込名義は、「受講者氏名」を入力してください。別の名義で振り込んだ場合は、入金の確認ができませんので、「振込名義」と「振込日」をメールでご連絡ください。

※期日までにご入金を確認できない場合は、受講許可が取り消しになります。

※研修開始日の1週間前を過ぎてからの個人的理由によるキャンセルの場合は、受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。

(2) その他

研修期間中に実施する所外実習又は見学に要する交通費等は受講者負担とします。

7. 修了証書の授与

所定の研修課程を履修した者には修了証書を授与します。成業の見込がないとき、理由なく欠席し、又は出席が通常でないときには、研修途中でも受講の許可を取り消すことがあります。

8. 受講時の注意事項

- ・ 宿泊は、各人で手配してください。
- ・ 研修会場へは公共交通機関をご利用ください。
- ・ 昼食については、各研修の案内をご確認ください。
- ・ 受付開始時刻までは、会場内に入れません。
- ・ やむをえず遅刻および早退、欠席する場合には、あらかじめご連絡ください。

9. 研修に関するお問い合わせ先

お問い合わせにつきましては、下記までご連絡ください。

■研修担当窓口■

〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

国立精神・神経医療研究センター 研究所事務室

TEL 042-341-2712 (内線6309) (受付時間：平日9時～17時)

Fax 042-346-1944

E-Mail: seiken-kensyu@ncnp.go.jp

なお、自殺予防総合対策センターが担当する研修（実施計画表 参照）については、直接自殺予防総合対策センターまでお問い合わせください。

<自殺予防総合対策センター研修窓口>

〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

TEL 042-341-2712 (内線6300) (受付時間：平日9時～17時)

Fax 042-346-1884

E-Mail: sp-kensyu@ncnp.go.jp

受講願書(サンプル)

平成 年 月 日

独立行政法人

国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所長 様

勤務先	WEB登録の内容が記載されます
勤務先所在地	WEB登録の内容が記載されます
現住所	WEB登録の内容が記載されます
氏名	WEB登録の内容が記載されます

印

貴所の平成27年度 ○○研修を受講したいので関係書類を添えて申請します。

履歴書(サンプル)

フリガナ 氏名	姓	名

性別	
----	--

生年月日	
------	--

年齢(受講日現在)	
-----------	--

すべての項目にWEB登録の内容が記載されます。
ご使用の環境によって、印刷の体裁などに若干の違いが生じることがあります。

現住所	
-----	--

勤務先	名称	
	所属部署	
	所在地	
	〒(郵便番号)	
	電話	
	E-mail(携帯不可)	

最終学歴(学校・学部・学科名)	
看護関係学歴(学校・学科名)※看護師のみ記入	

取得免許 (医療関係者に限る。 無い方は無と記載)	免許の名称	登録番号	取得年月日

現在の職種	
-------	--

精神保健関係の研修受講歴	研修名	受講期間

職歴	勤務先・所属部課・診療科目	職名	勤務期間	経験年数

現在の職務内容(簡明に記載)	
研修志望理由	
研修内容に対する要望等	
備考欄(通信欄)	

平成 年 月 日

独立行政法人

国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所長 様

推薦書(サンプル)

被推薦者氏名 WEB登録の内容が記載されます

(受講推薦理由)

※ 印刷後にご記入ください。

上記の者を貴所の平成27年〇〇研修 受講生として推薦いたします。

所在地 _____

施設名 _____

代表者(所属長)氏名 _____

印

請求書(サンプル)

右のとおり納入してください。なお、期限内に完納されなかったときは、右の延滞金の計算方法による延滞金額を計算して、その金額及び合計額を当該欄に記入して納付してください。

平成27年〇月〇日(研修開始1ヶ月前)

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター

理事長 樋口 輝彦

納付期限 平成27年〇月〇日(研修開始1週間前)

(郵便) 000-0000

(住所) 勤務先住所

勤務先名称

(氏名) 受講者氏名 殿

請求内容 研 修 名 受講料

延滞金の計算方法 延滞日数

延滞金＝元本×0.05× 365

下記の口座に振り込みをお願いします。

振込先口座名 三菱東京UFJ銀行(金融機関コード0005)

東京公務部(支部コード300) 普通預金 0000000

口座名義人 独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 研修費 理事長 樋口 輝彦

口座名義人フリガナ ドクリツギョウセイホウジン コクリツセイシ

ンシンケイイリョウケンキュウセンター セイシンホケンケンキュ

ウジョ ケンシュウヒ リジチョウ ヒグチテルヒコ

元 本	00000
-----	-------

延滞金	
-----	--

合計額	00000
-----	-------

第 10 回 発達障害早期総合支援研修

1. 目 的

本研修は、発達障害児や家族への乳幼児期から継続的な支援体制を地域内に構築する指導者の養成を目的としています。乳幼児健診などの機会に対人コミュニケーション面の発達を的確に把握し、ニーズのある子どもは見逃さずに適宜見守りができれば、親や関係者の子どものニーズへの気づきを高め、様々な支援にすみやかに繋げることが可能となります。本研修を通して、就学までの発達の変化について見通しを持って子どもと家族に支援できるよう、早期幼児期における発達障害の早期発見・早期支援の意義についての理解を深め、その方法についての最新の知識を習得することを目指します。受講者には、研修成果を踏まえて派遣元の自治体に還元普及することが期待されます。

2. 対 象 者

各自治体において、乳幼児健診に携わる医師および保健師で、発達障害支援について責任的立場にある方。すでに地域で取り組みを始めており、現実の問題にぶつかりどう対処すべきか悩んでおられる方、また新規に取り組みを始めようとしている地域の方、どちらも歓迎です。

3. 研修期間

平成 27 年 6 月 17 日（水）から平成 27 年 6 月 19 日（金）

4. 研修主題

地域における早期の自閉症発見と、その後の発達支援の意義と実際に焦点を当てています。

5. 課程内容

(時間)

1 日目

発達障害者支援事業について	(1.0)
発達障害のある児の発達の道筋	(1.5)
地域特性に応じた発達障害支援のあり方	(1.5)
自治体報告	(1.0)
当事者の声	(1.0)

2 日目

自閉症スペクトラム障害の早期発見のポイント	(1.5)
乳幼児の対人コミュニケーション行動のアセスメントⅠ	(1.5)
乳幼児の対人コミュニケーション行動のアセスメントⅡ	(1.5)
自治体報告及び意見交換	(2.0)

3 日目

幼児期から学童期までの発達障害のある子ども支援	(1.5)
発達障害のある児の親や教師に対する支援	(1.5)
保育所支援	(1.0)
自治体報告	(1.0)

合計 17.5 時間

6. 定 員 50 名

7. 願書作成 (WEB 登録) 期間: 平成 27 年 3 月 23 日 (月) ~ 4 月 13 日 (月)

受講願書締切日: 平成 27 年 4 月 16 日 (木)

8. 受 講 料 無 料

9. 会 場 国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

第 52 回 精神保健指導課程研修

(コミュニティメンタルヘルスのリーダーシップトレーニング)

1. 目 的

地域における精神保健福祉行政と精神保健医療福祉活動（コミュニティメンタルヘルス）の計画的・組織的推進のためのリーダーシップの修得を目的とする。

2. 対 象 者

- (1) 都道府県（指定都市）等において精神保健福祉計画の企画立案の指導的立場または中心的役割を担う者（精神保健福祉審議会の委員等を含む）
- (2) 公的または民間の組織団体において地域精神保健医療福祉（コミュニティメンタルヘルス）の実践の指導的立場または中心的役割を担う者

3. 研修期間

平成 27 年 6 月 25 日（木）から平成 27 年 6 月 26 日（金）まで

4. 研修主題

精神保健医療福祉の改革、自殺対策、地域精神保健福祉活動（コミュニティメンタルヘルス）の推進等、精神保健福祉の重要課題についての情報を提供するとともに、受講者間の情報交換を行う。

5. 課程内容

(時間)

精神保健医療福祉の発展と今後のあり方	(3.0)
地域精神保健福祉活動（コミュニティメンタルヘルス）の基盤情報	(6.0)
地域精神保健福祉活動（コミュニティメンタルヘルス）に関するワークショップ	(3.0)
合計	12 時間

6. 定 員 40 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 4 月 9 日（木）～5 月 14 日（木）

受講願書締切日：平成 27 年 5 月 14 日（木）

8. 受 講 料

20,000 円

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナー室

10. 備 考

本研修は WHO（世界保健機関）と Wonca（世界家庭医学会）によるプライマリケアのメンタルヘルスへの統合モデルを参考にプログラムを構成します。

第 19 回 発達障害支援医学研修

1. 目 的

都道府県における発達障害支援の拠点的医療機関の医師等を対象として、研修修了後に各地域において指導的な立場から、発達障害支援に関する情報や技能を伝達できるようになることを目的とする。

2. 対 象 者

病院、保健所、発達障害支援センター等に勤務し、発達障害に関心を有する医師、特に指導について責任的立場にある者。

3. 研修期間

平成 27 年 7 月 1 日（水）から平成 27 年 7 月 2 日（木）まで

4. 研修主題

発達障害の診断・治療と支援の実践

5. 課程内容（予定）

（時間）

- | | |
|-----------------------------|-------|
| I. (1) 厚生労働省の発達障害支援施策について | (1.0) |
| (2) 発達障害児に対する支援の考え方 | (2.0) |
| (3) 発達障害児を持つ保護者への支援 | (1.5) |
| (4) ADHD児のみかた（問題解決コラボレーション） | (1.5) |
| (5) 地域における発達障害児・者支援の現状 | (1.5) |
| II. (6) 学習障害の診断と治療 | (1.5) |
| (7) 発達障害に対する向精神薬の使い方 | (2.0) |
| (8) 適応行動尺度検査日本版の内容と実際 | (3.0) |

合計 14 時間

6. 定 員

60 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 4 月 6 日（月）～平成 27 年 4 月 27 日（月）

受講願書締切日：平成 27 年 4 月 30 日（木）

8. 受 講 料

無 料

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

第9回 自殺総合対策企画研修

1. 目 的

本研修は、自殺総合対策大綱の改正を踏まえ、自殺対策を企画立案する地方自治体が、現在取り組んでいる地域自殺対策緊急強化基金等による事業を効果的に進めるための企画・実施・評価能力を向上させることを目的とする。また、自殺リスクの高い人たちへの支援に適切に対応するための態度や知識を身につけることを目的とする。

2. 対 象 者

都道府県（政令指定都市）等において自殺対策の企画立案の指導的立場または中心的な役割を担う者、および、精神保健福祉センター、保健所等、行政において自殺予防や精神保健に係る相談業務に関わる者。

3. 研修期間

平成27年8月24日（月）から平成27年8月26日（水）まで（3日間）

4. 研修主題

地方自治体における自殺対策の計画づくりの企画立案能力の向上

5. 研修目標

- 1) 我が国の自殺の実態、自殺総合対策大綱および国の自殺対策の動向について説明できる。
- 2) 自治体において自殺対策にどのような視点で取り組むかを説明できる。
- 3) 自殺対策に係る自治体の先進的な取組事例について説明できる。
- 4) 地域の実状に応じた自殺対策を企画立案し、行動計画を策定できる。
- 5) 自殺リスクの高い人たちへの支援に適切に対応するための態度や知識を身につける。

6. 課 程 内 容

（時間）

自治体における自殺対策の計画づくりの企画立案能力の向上	(1.0)
内閣府、厚生労働省の取り組みについて	(1.0)
自殺対策の基礎知識	(2.0)
自殺対策の考え方	(3.0)
自殺リスクの高い人たちへの支援	(3.0)
先進的な取組事例	(3.0)
自殺対策の計画づくりの企画立案	(5.0)

合計 18.0時間

7. 定 員 80名（応募者多数の場合は選考）

8. 願書作成（WEB登録）期間：平成27年6月11日（木）～7月2日（木）

受講願書締切日：平成27年7月2日（木）

9. 受 講 料 12,000円

10. 会 場 国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

第 13 回 摂食障害治療研修

1. 目 的

摂食障害の治療に必要な専門的な知識及び技術の修得を目的とする。

2. 対 象 者

病院、保健所、精神保健福祉センター等に勤務し、摂食障害に関心を有する医療従事者
・精神科、心療内科、一般内科、小児科で臨床に従事している医師
・臨床心理業務等に従事する者

3. 研修期間

平成 27 年 8 月 25 日（火）から平成 27 年 8 月 28 日（金）まで

4. 研修主題

摂食障害の病態と治療に関する最新の知見

5. 課程内容

(時間)

摂食障害の疫学・病態・治療概論	(1.5)
心理教育	(1.5)
セルフヘルプ	(1.5)
家族への対応	(1.5)
認知行動療法	(3.0)
身体合併症・身体的管理	(3.0)
精神障害・パーソナリティ障害を合併する摂食障害	(1.5)
アルコール依存と摂食障害	(1.5)
小児の摂食障害	(1.5)
入院治療	(1.5)
慢性期・回復期・リハビリテーション	(3.0)
症例検討	(1.5)
総合討論	(1.5)

合計 24 時間

6. 定 員

40 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 6 月 1 日（月）～6 月 22 日（月）

受講願書締切日：平成 27 年 6 月 25 日（木）

8. 受 講 料

24,000 円

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナー室

《地域精神科モデル医療研修シリーズ》

第 7 回 アウトリーチによる地域ケアマネジメント（福祉型）研修

1. 目 的

精神障害者・知的障害者の安定した地域生活の支援、退院促進を目指したアウトリーチによる地域ケアマネジメント、障害者総合支援法上の相談支援、訪問による生活訓練の実践を普及させるため、必要な技術や課題の修得を目的とする。

2. 対 象 者

障害者総合支援法における社会福祉サービスの事業者、医療機関、市町村等に属する医療・社会福祉従事者（精神保健福祉士、社会福祉士、臨床心理業務に従事する者、保健師、看護師、作業療法士、医師等）

3. 研修期間

平成 27 年 9 月 1 日（火）から平成 27 年 9 月 4 日（金）まで

4. 研修主題

アウトリーチによる地域ケアマネジメントのスキル向上プログラム

5. 課程内容

《シリーズ共通》	(時間)
アウトリーチ概論制度概要	(1.5)
精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(1)	(1.0)
精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(2)	
パーソセンタード・サービスの概念について	(1.0)
精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(3)	
～支援者・当事者・家族の声から～	(3.0)
ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法	(4.0)
グループワーク：ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法	(3.0)
《本課程専門》	
地域生活における精神障害者の特性とニーズ、アウトリーチ活動の実際	(4.0)
相談支援事業・訪問による生活訓練等の運営の実際	(1.5)
全国における地域ケアマネジメント・訪問による生活訓練等の実践・運営の状況	(2.0)
グループワーク：運営に向けてのファーストステップ	(2.0)
合計	23.0 時間

6. 定 員 20 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 6 月 8 日（月）～6 月 29 日（月）

受講願書締切日：平成 27 年 7 月 2 日（木）

8. 受 講 料 25,000 円

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター

教育研修棟ユニバーサルホール、研究所 3 号館セミナー室

第13回 医療における包括型アウトリーチ研修

(旧 ACT・多職種アウトリーチ研修)

1. 目的

重症精神障害者の退院促進・再発予防・地域生活支援を目指した包括型地域生活支援プログラム (Assertive Community Treatment: ACT) をはじめとする医療・包括型のアウトリーチ支援を我が国に定着させるため、必要な技術や課題の修得を目的とする。

2. 対象者

精神科医療機関、精神保健福祉センター、保健所、市町村、社会復帰施設等に勤務する従事者 (医師、精神保健福祉士、臨床心理業務に従事する者、保健師、看護師、作業療法士等)。訪問支援経験者が望ましい。

3. 研修期間

平成27年9月1日 (火) から平成27年9月4日 (金) まで

4. 研修主題

医療型の包括型地域生活支援プログラムの定着のためのプログラム

5. 課程内容

《シリーズ共通》	(時間)
アウトリーチ概論制度概要	(1.5)
精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(1)	(1.0)
精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(2)	(1.0)
パーソセンタード・サービスの概念について	(1.0)
精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(3)	(3.0)
～支援者・当事者・家族の声から～	(4.0)
ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法	(3.0)
グループワーク：ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法	(3.0)
《本課程専門》	
ACTにおける医学的要素 (医師の役割・薬物管理・危機介入等)	(3.0)
ACTにおける生活支援 (生活支援の実施・当事者からの声)	(2.5)
ACTにおける就労支援 (IPSモデル)・家族支援	(2.0)
日本のACTの現状、今後の課題	(2.0)
合計	23.0時間

6. 定員 20名 (応募者多数の場合は選考)

7. 願書作成 (WEB登録) 期間：平成27年6月8日 (月) ～6月29日 (月)

受講願書締切日：平成27年7月2日 (木)

8. 受講料 25,000円

9. 会場

国立精神・神経医療研究センター

教育研修棟ユニバーサルホール、研究所3号館セミナー室

第3回 医療における個別就労支援研修

1. 目 的

入院中心の医療を地域生活中心の医療に転換するためには、「症状緩和のための医療」を「その人の生活の充実に役に立つ医療」に転換していく必要がある。「働きたい」精神障害者が実際に就職できるような支援を、医療機関が積極的に関与しながら展開することは、この目的のために重要な課題である。本研修は科学的根拠のある実践である、個別職場定着とサポート（IPS：individual Placement and Support）の概念を中心に、医療機関を中心とした就労支援のあり方を検討する。

2. 対 象 者

精神科医療機関で臨床に従事しており、利用者の就労支援に関心を持つ者（医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士など）、および医療機関と密接な関係を持ちながら精神障害者の個別就労支援に既に従事している者（集団プログラム等のみの支援は除く）。

3. 研修期間

平成27年9月1日（火）から平成27年9月4日（金）まで

4. 研修主題

個別職場定着とサポート（IPS：individual Placement and Support）の就労支援の原則を学び、そこから精神科デイケアを中心とした、個別就労支援のありかたや、医療機関が周囲の就労支援機関と組む場合のありかたについて検討する。

5. 課程内容

《シリーズ共通》	（時間）
アウトリーチ概論制度概要	（1.5）
精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(1)	（1.0）
精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(2)	
パーソセンタード・サービスの概念について	（1.0）
精神科リハビリテーションにおけるリカバリーの概念について(3)	
～支援者・当事者・家族の声から～	（3.0）
ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法	（4.0）
グループワーク：ストレングスモデルに基づいたケアプランの作成方法	（3.0）
《本課程専門》	
労働行政の現在と課題：障害者雇用を中心に	（1.5）
個別職場定着とサポート（IPS）の基本的な考え方と実践のありかた	（1.5）
IPSを基本とした、デイケアにおける就労支援のありかた	（1.5）
クリニックなどと就労支援の結合について	（1.5）
精神障害者を雇用するにあたっての企業側の考え方	（1.5）
当事者サイドの声、家族の声	（1.5）
グループワーク：運営に向けてのファーストステップ	（2.0）
合計	24.5 時間

6. 定 員 20 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB登録）期間：平成27年6月8日（月）～6月29日（月） 受講願書締切日：平成27年7月2日（木）

8. 受講料 25,000 円

9. 会 場 国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール、研究所3号館セミナー室

第3回 司法精神医学ワンデイセミナー

1. 目 的

司法精神医学ワンデイセミナーでは毎年、司法精神医学をめぐるトピックを1つとりあげた研修をします。今回は、＜精神科医療従事者が知っておきたい医療倫理の基礎と倫理的ジレンマへの対応＞を行います。

2. 対 象 者

病院あるいは地域（行政、教育現場等を含む）で精神科臨床に従事している方、あるいはこれから精神科臨床の実践に携わる予定の方を対象とします。

3. 研修期間

平成27年9月5日（土）

4. 研修主題

精神科医療では、非自発的入院のあり方をはじめとする倫理的問題に日常的に遭遇します。本セミナーでは、医療倫理の考え方の基本と精神科臨床に特有の倫理問題を、事例検討（グループワーク）を通じて学ぶ機会を提供します。

5. 課程内容

	(時間)
医療倫理学の基礎	(1.0)
精神科臨床における倫理的課題	(1.0)
臨床事例の倫理的検討法	(1.0)
演習	(2.5)

合計 5.5 時間

6. 定 員

25 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 6 月 12 日（金）～7 月 3 日（金）

受講願書締切日：平成 27 年 7 月 7 日（火）

8. 受講料

6,000 円

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟多目的室

第 29 回 薬物依存臨床医師研修

第 17 回 薬物依存臨床看護等研修

1. 目 的

国内外の薬物乱用・依存をめぐる情勢を考慮すると、我が国の精神医療、精神保健の中での薬物依存問題はますます重要性を増していると考えられる。そのため、薬物依存に関心を持つ医師、看護師等を対象に、薬物依存の概念・現状理解、基礎知識、臨床的対応法にわたる研修を行い、薬物依存の診断、治療及び予防に資することを目的とする。薬物依存症者に対する認知行動療法実施の際の前提となる基礎知識を提供します。

2. 対 象 者

精神科病院、精神保健福祉センター等に勤務する医師、看護師等

3. 研修期間

平成 27 年 9 月 8 日（火）から平成 27 年 9 月 11 日（金）まで

4. 研修主題

薬物依存症概念の理解と薬物依存症に対する臨床的対応の普及

5. 課程内容

	(時間)
薬物依存に関する基礎知識と現状把握	(1.5)
薬物依存の形成機序（精神依存・身体依存）	(1.5)
覚せい剤精神疾患の生物学的機序	(1.5)
覚せい剤依存・精神病の臨床	(1.5)
有機溶剤乱用・依存の現状と臨床	(1.5)
ベンゾジアゼピン系薬物の基礎と臨床	(1.5)
大麻の薬理作用及び行動毒性	(1.5)
薬物依存症者に対する心理療法	(1.5)
医療施設における薬物依存の治療	(3.0)
地域における薬物依存の治療	(1.5)
精神保健福祉センターにおける取り組み	(1.5)
薬物関連精神障害者の司法的問題	(1.5)
回復者による自助グループ活動	(1.5)

合計 21.0 時間

6. 定 員

医師 20 名、看護師等 30 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 6 月 15 日（月）～7 月 6 日（月）

受講願書締切日：平成 27 年 7 月 9 日（木）

8. 受 講 料

24,000 円

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナー室

第8回 発達障害精神医療研修

1. 目 的

本研修は、一般精神医療現場や精神保健領域で出会う種々の主訴を有する思春期から成人期の精神科患者のなかで、背景に未診断あるいは臨床閾下の自閉スペクトラム症や注意欠如・多動性障害を有する患者の診断評価や併存症に関する知識、そして発達段階による臨床上の変化や診断・治療上の留意点についての理解を深めるとともに、社会適応や QOL を高めることを目的とするライフステージを通じた支援システムにおける医療の役割と、他領域との連携についての経験知を広げることを目指しています。受講者は、研修成果を踏まえて派遣元の自治体に還元普及することが期待されます。

2. 対 象 者

各自治体において精神医療の中核となる機関（精神科病院、総合病院精神科、精神保健福祉センター等）に勤務する精神科医

3. 研修期間

平成 27 年 9 月 16 日（水）から平成 27 年 9 月 18 日（金）まで

4. 研修主題

未診断の発達障害を抱える青年・成人患者の鑑別診断と処遇法に関する幅広い臨床ニーズに対応する最新の知見。症例検討の機会を十分にとることで、教科書的な理解ではなく実践的な理解を深めて日常臨床に役立つ知識の取得を目指します。

5. 課程内容

1 日目	(時間)
発達障害者支援事業について	(1.0)
自閉症スペクトラム障害児・者の発達の道筋	(1.5)
不適応状態を示す ASD のある児童・青年期への認知行動療法	(1.5)
発達障害の性差：女性の臨床的諸問題	(1.0)
2 日目	
ADHD の診断と治療	(1.0)
症例検討	(1.5)
発達障害の併存症の評価と治療	(1.0)
症例検討	(1.5)
当事者の体験から	(1.0)
自閉症スペクトラムの脳画像研究から分かること	(1.5)
3 日目	
成人期の発達障害への取り組み	(1.0)
ASD のアセスメントの実際	(1.5)
当事者の体験から	(1.0)
発達障害の就労支援	(1.5)

合計 約 17.5 時間

6. 定 員 50 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 7 月 9 日（木）～平成 27 年 7 月 30 日（木）

受講願書締切日：平成 27 年 7 月 30 日（木）

8. 受講料 無 料

9. 会 場 国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

第6回 心理職自殺予防研修

1. 目 的

心理職等の専門性を生かして自殺予防に関わる重要性を理解し、自殺に傾いた人や自殺で遺された人に、相互に連携、協働し、適切に対応するための態度や知識を身につける。

2. 対 象 者

自治体、関係団体、民間団体、企業等で対人支援に携わる心理職等

3. 研修期間

平成27年9月29日（火）から平成27年9月30日（水）まで（2日間）

4. 研修主題

自殺のアセスメントと基本的対応、関連する精神科診断、薬物療法の知識、ソーシャルワーク等の基礎知識の習得

5. 課程内容

（時間）

自殺の現状

自殺と精神疾患

自殺のハイリスク者への対応

ソーシャルワーク

未遂者ケア

事後対応

パーソナリティ障害の地域支援のあり方

総合討議

合計 12時間

6. 定 員

80 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成27年7月16日（木）～8月6日（木）

受講願書締切日：平成27年8月6日（木）

8. 受 講 料

無 料

9. 場 所

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

第1回 メンタルヘルス問題への初期対応指導者研修

1. 目的

本研修では、地域精神保健の場で遭遇する、ありふれた精神疾患に関する基礎知識と初期対応法を伝える、メンタルヘルス・ファーストエイド(MHFA)の実施者研修を提供します。本研修の目的は、精神保健問題をもつ人への対応法に主眼においた住民向けの研修会を効率的に実施する知識と技術を身につけることです。

2. 対象者

精神科医療機関、精神保健福祉センター、保健所に勤務する保健医療従事者（医師、精神保健福祉士、臨床心理業務に従事する者、保健師、看護師）

3. 研修期間

平成27年10月1日（木）から平成27年10月2日（金）まで

4. 研修主題

ありふれた精神疾患に関する基礎知識を理解し、専門家につなげる前の初期対応法として、デモセッション見学、ディスカッション、演習などを通して、住民に伝えるべき精神的問題に対する研修のファシリテーションの実際を学びます。

5. 課程内容

	(時間)
メンタルヘルス・ファーストエイド(MHFA)とは	(1.5)
うつ病・自殺のMHFA	(1.5)
不安障害のMHFA	(1.5)
地域におけるMHFA研修の実際	(1.5)
精神病性障害のMHFA	(1.5)
医療・職域におけるMHFAの活用	(1.5)
アルコール・薬物依存のMHFA	(1.5)
総合討議	(1.5)
合計 12 時間	

6. 定員

40名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB登録）：平成27年7月27日（月）から平成27年8月17日（月）

受講願書締切日：平成27年8月17日（月）

8. 受講料

18,000 円

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 研究所3号館セミナー室

第 10 回 司法精神医学研修

1. 目 的

本研修では、司法精神医学に関する基礎的な情報を提供し、またできるだけ幅広い話題をとりあげた講義を行います。一般精神医療、地域精神保健、あるいは行刑施設等、さまざまな領域における臨床と研究をおこなう前提として必要な知識を学ぶことを目的とします。

2. 対 象 者

精神科医療機関、行刑施設、地域（保健所等）において精神医療に従事している医師、臨床心理技術者、看護師、精神保健福祉士等

3. 研修期間

平成 27 年 10 月 27 日（火）から平成 27 年 10 月 28 日（水）まで

4. 研修主題

司法精神医学的な評価と介入を提供するために必要となる基本的な知識の習得、およびその臨床的な応用

5. 課程内容

	(時間)
司法精神医学総論－歴史、法律、制度－	(2.0)
司法精神鑑定概論	(1.0)
司法精神医療概論	(2.0)
司法精神医療における倫理	(1.0)
司法精神医療におけるリスク・アセスメント（1）	(1.5)
司法精神医療におけるリスク・アセスメント（2）	(1.5)
司法精神医療における心理学的治療アプローチ（1）	(1.5)
司法精神医療における心理学的治療アプローチ（2）	(1.5)
合計	12 時間

6. 定 員

50 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 8 月 3 日（月）～8 月 24 日（月）

受講願書締切日：平成 27 年 8 月 27 日（木）

8. 受講料

12,000 円

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

第12回 摂食障害看護研修

1. 目的

摂食障害についての基礎、臨床及び疫学の修得により、摂食障害の治療と予防の質的向上を図ることを目的とする。看護師は摂食障害のチーム医療で重要な役割を果たしていることから、本研修を通じて、摂食障害患者の急増、低年齢化及び慢性例・難治例の増加に対応できる人材の養成を目指す。

2. 対象者

精神科、心療内科、小児科、精神保健福祉センター等に勤務する看護師および保健師、作業療法士、精神保健福祉士等

3. 研修期間

平成27年11月4日（水）から平成27年11月6日（金）まで

4. 研修主題

摂食障害の病態と治療に関する最新の知見

5. 課程内容

	(時間)
摂食障害の疫学・病態・治療概論	(1.5)
コミュニケーションのスキル	(1.5)
摂食障害治療の基本	(1.5)
摂食障害の身体的合併症の管理	(1.5)
摂食障害、パーソナリティ障害を合併する摂食障害	(1.5)
精神科病棟における看護	(1.5)
心療内科・内科病棟における看護	(1.0)
小児の摂食障害と小児科病棟における看護	(2.0)
慢性期・回復期・リハビリテーション	(2.0)
栄養リハビリテーション	(2.0)
ソーシャルワーカーの役割	(1.0)
総括討論	(1.0)

合計 18時間

6. 定員

40名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB登録）期間：平成27年8月10日（月）～8月31日（月）

受講願書締切日：平成27年9月3日（木）

8. 受講料

18,000円

9. 会場

国立精神・神経医療研究センター 研究所3号館セミナー室

第7回 薬物依存症に対する認知行動療法研修

1. 目 的

薬物依存症者に対する積極的な援助ができるようになるとともに、Matrix Model を参考にした包括的外来薬物依存症治療プログラムを実施するための基礎を身につけるとともに、薬物依存症者家族支援への理解を深め、薬物依存症の地域支援に資する援助技術の向上を図る。

2. 対 象 者

医療機関、行政機関、司法機関、民間回復施設等で薬物依存症者の援助に従事している者。

3. 研修期間

平成 27 年 11 月 9 日（月）から平成 27 年 11 月 11 日（水）まで

4. 研修課題

薬物依存症者の臨床的特徴と治療に関するエビデンスを理解し、直面化を避けた動機付け面接の重要性を理解し、薬物依存症に対する集団認知行動療法のファシリテーションの実際を学ぶとともに、家族支援への理解を深める。なお、当研修と当センター精神保健研究所薬物依存研究部主催による「薬物依存臨床医師・看護等研修」の両方を終了した者に対しては、薬物依存研究部より、「薬物依存専門課程修了認定書」を授与する。

5. 課程内容

	(時間)
薬物依存症の理解と援助の基本	(2.0)
専門医療機関外来における認知行動療法プログラム	(1.5)
精神保健福祉センターでの認知行動療法のプログラム	(1.5)
医療観察法病棟における認知行動療法プログラム	(1.5)
地域保健機関における認知行動療法プログラムの立ち上げ方	(1.5)
ビデオ学習・デモセッション	(3.0)
再乱用防止プログラムのグループワーク	(2.0)
薬物依存者家族の支援のあり方と CRAFT の理解	(3.0)
総合討議	(2.0)
合計	18 時間

6. 定 員

60 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 8 月 17 日（月）～9 月 7 日（月）

受講願書締切日：平成 27 年 9 月 10 日（木）

8. 受 講 料

無 料

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

第 11 回 精神科医療従事者自殺予防研修

1. 目 的

- 1) 自殺予防における精神科医療従事者の具体的な役割を理解する。
- 2) 自殺の背景にある精神疾患の実態を踏まえた、総合的な精神科医療の提供、チーム医療の実現、地域連携を促す。
- 3) 自殺リスクの高い患者に対する陰性感情を克服し、援助者として適切な態度や対応を身につける。

2. 対 象 者

医師、看護師、精神保健福祉士、心理職等の精神科医療従事者。

3. 研修期間

平成 27 年 11 月 17 日（火）から平成 27 年 11 月 18 日（水）まで（2 日間）

4. 研修主題

精神科医療における自殺予防の取組の充実

5. 課程内容

（時間）

わが国の自殺および自殺対策の実態、精神科医療の役割
日常精神科臨床における自殺予防
自傷・過量服薬の理解と対応と自殺のアセスメント
身体疾患と自殺
パーソナリティ障害の自殺リスクと治療に関するエビデンス
自殺が生じたあとの対応
チーム医療
地域連携のあり方
総合討議

合計 12 時間

6. 定 員

80 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 9 月 3 日（木）～9 月 24 日（木）

受講願書締切日：平成 27 年 9 月 24 日（木）

8. 受 講 料

無 料

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

第9回 精神科急性期医療の質を考える研修

(旧 精神科医療評価・均てん化研修)

1. 目的

精神科医療の質の評価とその活用に関する専門的知識および技能を修得し、実践に繋げることを目的とする。

2. 対象者

精神科救急・急性期医療施設において精神科診療に従事している医師および専門職

3. 研修期間

平成27年11月24日(火)

4. 研修主題

精神科医療をとりまく制度や環境は大きく変動している。本研修では精神疾患治療を担う精神科救急・急性期医療施設をとりまく現状を理解し、精神科医療の質を高めるための専門的知識および技能を修得し、実践に繋げることである。医療の「質」とは何で、どうすれば向上するのかについて、ともに考える研修としたい

5. 課程内容

(時間)

「医療の質」についての考え方

(1.0)

精神科急性期医療における医療の質

(1.0)

医療の質向上のための方策

(2.0)

グループワーク

(2.0)

合計 6時間

6. 定員

60名(応募者多数の場合は選考)

7. 願書作成(WEB登録)期間:平成27年9月17日(木)~10月8日(木)

受講願書締切日:平成27年10月8日(木)

8. 受講料

8,000円

9. 会場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

第 12 回 精神科医療従事者自殺予防研修

1. 目 的

- 1) 自殺予防における精神科医療従事者の具体的な役割を理解する。
- 2) 自殺の背景にある精神疾患の実態を踏まえた、総合的な精神科医療の提供、チーム医療の実現、地域連携を促す。
- 3) 自殺リスクの高い患者に対する陰性感情を克服し、援助者として適切な態度や対応を身につける。

2. 対 象 者

医師、看護師、精神保健福祉士、心理職等の精神科医療従事者

3. 研修期間

平成 27 年 11 月 24 日（火）から平成 27 年 11 月 25 日（水）まで（2 日間）

4. 研修主題

精神科医療における自殺予防の取組の充実

5. 課程内容

（時間）

わが国の自殺および自殺対策の実態、精神科医療の役割
日常精神科臨床における自殺予防
自傷・過量服薬の理解と対応と自殺のアセスメント
身体疾患と自殺
パーソナリティ障害の自殺リスクと治療に関するエビデンス
自殺が生じたあとの対応
チーム医療
地域連携のあり方
総合討議

合計 12 時間

6. 定 員

80 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 9 月 10 日（木）～10 月 1 日（木）

願書締切日：平成 27 年 10 月 1 日（木）

8. 受講料

無 料

9. 場 所

ACU [アキュ]（北海道札幌市）

第 10 回 犯罪被害者メンタルケア研修

1. 目 的

犯罪被害者等基本法の成立に伴い、精神科医療機関に求められている犯罪被害者・遺族への適切な対応を行うために必要な基本的知識と治療対応について修得することを目的とする。

2. 対 象 者

精神科医療機関、精神保健福祉センター、保健所、犯罪被害者支援関連機関に勤務する医療・臨床心理、福祉業務従事者。(医師、精神保健福祉士、臨床心理業務に従事する者、保健師、看護師、社会福祉士等)

3. 研修期間

平成 28 年 1 月 18 日 (月) から平成 28 年 1 月 20 日 (水) まで

4. 研修主題

犯罪被害者・遺族の心理についての基本的な知識、および臨床現場での適切な治療対応

5. 課程内容

	(時間)
犯罪被害者等基本法及び基本計画における精神医療の役割	(1.0)
警察による犯罪被害者支援	(1.0)
犯罪被害者と刑事司法	(1.5)
犯罪被害者のメンタルヘルスと治療対応の基礎	(2.5)
犯罪被害者遺族の心理とケア・治療 (概論・事例)	(1.5)
犯罪被害者の声 (被害者ご家族からのお話)	(1.5)
犯罪被害者の治療 1 : DV の被害者の治療 (概論・事例)	(1.5)
犯罪被害者の治療 2 : 子どもの被害者の治療 (概論・事例)	(1.5)
犯罪被害者の治療 3 : PTSD の治療概論	(1.5)
犯罪被害者の治療 4 : 臨床現場での犯罪被害者への治療の実際	(1.5)
犯罪被害者の治療 5 : 心理教育・リラクセーションの実際 (実習)	(1.5)
事例検討・ディスカッション	(1.5)
合計	18 時間

6. 定 員

40 名 (応募者多数の場合は選考)

7. 願書作成 (WEB 登録) 期間 : 平成 27 年 11 月 5 日 (木) ~ 11 月 26 日 (木)

受講願書締切日 : 平成 27 年 11 月 26 日 (木)

8. 受 講 料

15,000 円

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナー室

第 20 回 発達障害支援医学研修

1. 目 的

都道府県における発達障害支援の拠点医療機関の小児科・小児神経科医師等を対象として、研修修了後に各地域において指導的な立場から、発達障害支援に関する情報や技能をスタッフ・当事者に伝達できるようになることを目的とする。

2. 対 象 者

病院、保健所、発達障害支援センター等に勤務し、発達障害に関心を有する医師、特に指導について責任的立場にある者。

3. 研修期間

平成 28 年 1 月 27 日（水）から平成 28 年 1 月 28 日（木）まで

4. 研修主題

発達障害児に対する医学的介入と心理社会的支援の実践

5. 課程内容（予定）

（時間）

I. (1) 発達障害者支援施策について

(1.0)

(2) 発達障害者の就労支援

(1.5)

(3) 発達障害支援サービスの展開

(1.5)

II. (4) 医師が知っておきたい心理検査：講義と実習

(4.0)

(5) 教育現場での ICT（情報通信技術）活用の実践

(2.0)

(6) 発達障害児への薬物治療

(2.0)

(7) 不器用児の診断と支援の実践

(2.0)

合計 14 時間

6. 定 員

60 名（応募者多数の場合は選考）

7. 願書作成（WEB 登録）期間：平成 27 年 11 月 2 日（月）～11 月 23 日（月）

受講願書締切日：平成 27 年 11 月 26 日（木）

8. 受 講 料

無 料

9. 会 場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール